

資 料

新 着 資 料 の 紹 介

資 料 室

1) ソ連科学アカデミー・ウラル支部編 (1969, 1971) : 「Магматические Формации, метаморфизм, металлогения Урала (ウラルのマグマ岩系, 変成作用, 鉱床分布) 」, ズベルドロフスク, 第2・3・4・5巻, 27 × 18 cm (露文) .

これは, ズベルドロフスクで1969年に行なわれた第2回ウラル岩石学総会での報告と総括を5巻の詳細な出版物として発表したものである.

第2巻目次

Д. С. Штейнберг, Л. Д. Булыкин, А. А. Ефимов, И. А. Малахов, В. Г. Фоминых : ウラル地方超塩基性岩岩石学の諸問題, p. 5 ~ 17, 文献57.

Л. Д. Булыкин : ウラル地方のかんらん岩岩系の地質学的特徴, p. 18 ~ 29, 図1, 文献40.

И. А. Малахов : ウラル地方の超塩基性岩の平均組成, p. 30 ~ 34, 表3, 文献14.

С. И. Иванов : 地向斜性超塩基性岩の起源問題に寄せて, p. 35 ~ 38, 文献10.

Т. Г. Тресвятская, М. А. Ершова : デクチャール硫化鉄鉱床域における蛇紋岩の起源の問題によせて, p. 39 ~ 47, 図8, 表2, 文献2.

А. В. Ключихин, А. В. Буряченко : 南ウラルのクラカ超塩基性山塊, p. 48 ~ 55, 表6.

Н. П. Старков : ピシユール-サラノフ帯の超塩基性岩, p. 56 ~ 73, 図4, 表7, 文献28.

И. А. Малахов, Л. В. Малахова : ニジュネ-タギール山塊の超塩基性岩とその側岩の組成と起源について, p. 74 ~ 82, 図3, 表1, 文献8.

В. Г. Фоминых : ウラル地方含金帯の単斜輝石岩の鉱物学および地球化学, p. 83 ~ 92, 図9, 表3, 文献15.

Т. А. Смирнова : ケンピルサイ・プルトンの超塩基性岩に関する新データ, p. 93 ~ 101, 図3, 表6, 文献20.

И. И. Эдельштейн : 南ウラル地方の超塩基性貫入体の岩石化学的特徴と鉱床形成上の諸特徴, p. 102 ~ 104 文献5.

Б. А. Шкурпат : 南ウラル地方ジェトイガラー区の超塩基性岩の岩石学および岩石化学的特徴, p. 105 ~ 108, 図3, 表1, 文献6.

И. И. Эдельштейн, Ю. Я. Михайлов, Л. А. Генина : 南ウラル地方における含ニッケル黄鉄鉱の生成条件, p. 109 ~ 111, 図1, 表1, 文献4.

А. Г. Бакиров : ウラル地方超塩基性岩類のクロム鉄鉱胚胎性の問題によせて, p. 112 ~ 115, 図1, 文献6.

И. А. Малахов : クロム鉄鉱胚胎性の規準としてのウラル地方超塩基性岩類中でのクロム分布の性質, p. 116 ~ 120, 表4, 文献4.

А. Е. Малахов, Т. А. Пуркина, Б. А. Телегин : 北ウラル地方超塩基性山塊のクロム鉄鉱胚胎性について, p. 121 ~ 127, 図1, 表3, 文献5.

Г. Г. Кравченко : ケンピルサイ超塩基性山塊のクロム鉄鉱床生成体の構造的諸特徴, p. 128 ~ 133, 図2.

А. А. Савельев, Г. Н. Савельева : бойкаль-суинья山塊超塩基性岩の岩石学とクロム鉄鉱胚胎性, p. 134 ~ 138, 図1, 文献3.

С. В. Москалева : 北ウラル地方サラチム帯の超塩基性岩の構造地質的位置と生成期について, p. 139 ~ 152, 図9, 文献29.

М. Е. Кулиджанян, В. Е. Вдовина : 南ウラル山脈東斜面における超塩基性山塊のブルクターリ・

グループ, p. 153 ~ 157, 図1.

Д. С. Штейнберг, И. А. Малахов, Л. Д. Булыкин, И. С. Чашухин: ウラル地方超塩基性岩の蛇紋岩化作用の研究の総括, p. 158 ~ 167, 文献54.

В. Р. Артемов, В. Н. Кузнецова: 蛇紋石鉱物学に関する近代的概念に照した蛇紋岩化作用の問題, p. 168 ~ 176, 文献31.

И. М. Лашнев: キエンバイ山塊の主な蛇紋岩化作用タイプにみられる蛇紋石質鉱物の電子顕微鏡的・微回折的研究, p. 177 ~ 196, 図13, 表4, 文献12.

Н. Д. Соболев: アラパエフスク超塩基性山塊の形成作用と蛇紋岩化作用の特徴, p. 197 ~ 203, 図4, 文献6.

Г. Н. Судиловский: 蛇紋岩化作用による超塩基性岩の化学的性質の変化と諸規則性, p. 204 ~ 211, 図5, 表4, 文献9.

Л. Д. Булыкин: 蛇紋岩化作用時における酸化鉄の挙動についての新データ, p. 212 ~ 216, 図2, 表1.

С. В. Москалева: 超塩基性岩の物理的性質に対する2次変質作用の影響, p. 217 ~ 221, 文献14.

И. Ф. Таврин, И. С. Чашухин: 南ウラル地方超塩基性山塊の内部構造図化への磁気測定法利用の可能性, p. 222 ~ 227, 図4, 文献7.

Т. А. Смирнова, И. Ф. Романович: 南ウラル地方花崗岩-片麻岩コンプレックスに胚胎された超塩基性岩の変成, p. 228 ~ 234, 図4, 表1, 文献11.

Б. Я. Меренков, А. Я. Хмара: スイセルチ-イリメノゴルスク結晶岩コンプレックスの超塩基性岩の変成の特徴とその直閃石アスベスト鉱化作用との関係, p. 235 ~ 241, 表1, 文献24.

К. К. Золоев: 含石綿超塩基性岩の物質組成の特徴, p. 242 ~ 253, 図7, 表1, 文献14.

А. Я. Хмара, З. И. Хмара: スイセルチ区の含石綿超塩基性岩の岩石化学, p. 254 ~ 260, 表6, 文献14.

И. Ф. Романович: ウラル地方滑石鉱床の成因的分類上の新種, p. 261 ~ 266, 図2, 文献16.

О. Г. Коновалова: クズネツキー-アラタウ地方の環状火山・深成構造およびそれと関係あるウラル地方の類似生成体と比較した超塩基性マグマ作用の新しいタイプについて, p. 267 ~ 274, 表1, 文献9.

討論: p. 275 ~ 289, 図1.

第2回ウラル岩石学総会超塩基性岩分科会決議, p. 290 ~ 291.

第3巻目次

Д. С. Штейнберг: ウラル地方の玄武岩質マグマ作用, p. 5 ~ 14, 文献9.

С. Н. Иванов: 優地向斜の主要な火山岩-深成岩共存関係の起源とその鉱床生成との関係について, p. 15 ~ 29, 文献56.

А. П. Лебедев: 地殻中での塩基性マグマ作用進行形態の分類について, p. 30 ~ 35.

В. И. Лебединский: クリミヤ山岳地方とドネツ盆地の火山源層の構造と成因の諸特徴, p. 36 ~ 42, 文献13.

В. Т. Фролов: 火山源-堆積岩の岩石学的分類と成因的分類の組み立て原則について, p. 43 ~ 48, 表1, 文献10.

Д. С. Штейнберг: 噴出岩の化学的分類について, p. 49 ~ 54, 図2, 文献3.

Л. В. Овчинникова, А. А. Кириченко, Л. В. Голубева: ウラル地方の噴出岩の岩石学的分類について, p. 55 ~ 65, 図1, 表1, 文献10.

О. А. Нестоянова: 南ウラル地方古生代中部火山源生成体の地質年代対比, p. 66 ~ 76, 文献28.

Г. Ф. Червяковский: ウラル地方火山生成体の相解析と古火山の復元, p. 77 ~ 87, 文献34.

А. А. Абдулин: 西ムゴジャール地区中期古生代の噴出岩系と鉱床分布上の諸特徴, p. 88 ~ 93, 文

献 7.

В. В. Сагло : 南ウラル山脈南部の東斜面の下-中部デボン紀火山源層系, p. 94 ~ 99, 図 1, 表 2, 文献 13.

Т. И. Фролова : マグニトゴルスク大型複向斜火山源層系の量的特徴とその成因的諸問題, p. 100 ~ 111, 図 2, 表 4, 文献 11.

В. А. Коротеев : クルカク区に例をとった南ウラル山脈イレンドイク火山作用帯の火山性生成体, p. 112 ~ 124, 図 4, 表 3, 文献 25.

А. П. Наседкин, Г. Н. Старцев : ガイスク区北部の火山源層の構成について, p. 125 ~ 133, 図 2, 文献 2.

Н. П. Старков : 北ウラル山脈西斜面のマグマ作用, 玄武岩質岩系の岩石の岩石学および地球化学的特徴, p. 134 ~ 143, 図 3, 表 2, 文献 12.

В. С. Бочкарев : 西シベリア低地の初期中生代トラップ岩質マグマ作用およびウラル山脈・クズネツ盆地・ツングス陸向斜各トラップ岩とその比較, p. 144 ~ 155, 図 2, 表 3, 文献 24.

Ю. С. Каретин : 中ウラル地方北部のシルル紀火山作用, p. 156 ~ 164, 図 1, 表 1, 文献 4.

Л. Н. Князева, Н. В. Ефанова : 北ウラル地方イブデリ区アイフェリアン火山源層系, p. 165 ~ 175, 図 5, 表 2.

Т. В. Дианова : 東ウラル沈降部中部の古生代火山作用の特徴, p. 176 ~ 180.

И. А. Петрова : 極ウラル地方西斜面の先オルドビス紀マグマ岩系の岩石学と鉱床生成作用の特徴, p. 181 ~ 188, 図 3, 文献 4.

Е. Д. Семенова, М. И. Райкова : ウラル地方の岩石化学図, p. 189 ~ 193.

В. С. Шарфман : マグニトゴルスク大型複向斜西翼南部の中期古生代火山源コンプレックスの岩石化学的特徴, p. 194 ~ 201, 図 2, 文献 6.

П. В. Аржавитин : 南ウラル地方プリバイ区のマグマ岩系の岩石化学的特徴, p. 202 ~ 210, 図 1, 表 3.

А. Д. Штейнберг : 南ウラル地方アレксандра区の中中部デボン紀マグマ岩系, p. 211 ~ 218, 図 2, 表 2.

А. В. Говорова : マグニトゴルスク鉱床田の上部デボン紀および下部石炭紀の塩基性噴出岩の比較岩石学的・岩石化学的特徴, p. 219 ~ 229, 図 10, 文献 10.

В. Н. Авдонин, Э. Ф. Емлин : 北ウラル地方緑色岩帯産含玻璃噴出岩類, p. 230 ~ 234, 図 1, 表 2, 文献 5.

Р. А. Крылов : 中ザウラル地方の cenotype 流紋岩の岩石学, p. 235 ~ 241, 表 2.

Л. Т. Каретина : 中ウラル地方北部の緑色岩帯のスピライト-ケラトファイア岩系酸性噴出岩類, p. 242 ~ 253, 表 4, 文献 7.

Т. И. Фролова, Е. В. Островская : 南ウラル山脈東斜面でのアルカリ火山源岩類の発見について, p. 254 ~ 257, 図 2, 表 1, 文献 5.

Н. С. Лисов, Н. Ф. Коровин : クラスノツリンスク区・セロボ区・ノーボリャリンスク区の貫入岩の生成期と生成順序, p. 258 ~ 263, 図 1, 文献 6.

Л. П. Ефимова, Л. И. Лядова : 北ウラル地方ニオルス河盆地の輝緑岩とはんれい岩-輝緑岩の貫入岩, p. 264 ~ 268, 図 2, 表 2, 文献 3.

Ю. В. Шурубор : 中ウラル山脈西斜面のパシー区の脈状火成岩, p. 269 ~ 274, 表 1, 文献 5.

Серавкин, Д. Н. Салихов : マグニトゴルスク大複向斜西翼のサブボルカニック岩, p. 275 ~ 282, 図 3, 表 1, 文献 4.

Г. Ф. Червяковский : ウラル地方火山成帯の地質図化上の主要問題, p. 283 ~ 287, 文献 7.

С. Г. Грешнер : ウラル地方の主要火山成帯中のイグニブライト, p. 288 ~ 300, 図 11, 表 1, 文献 17.

- Ю. С. Каретин : 中ウラル地方北部のシルル紀におけるガルカ・カルデラの浮石凝灰岩とイグニンプライト, p. 301 ~ 307, 図8, 文献7.
- В. Г. Кориневский : ムゴジャール地区西部の枕状熔岩, p. 308 ~ 318, 図12, 表2, 文献5.
- И. В. Семёнов : 中ウラル地方安山岩-玄武岩コンプレックスのボルカナイトとサブボルカナイトの差の岩石化学的規準について, p. 319 ~ 328, 図2, 表5, 文献13.
- М. Б. Бородаевская, А. И. Шмидт : 南ウラル地方にみられる硫化鉄鉱床の生成条件, p. 329 ~ 339, 文献25.
- С. Н. Иванов, В. М. Нечухин : 火山性母岩層の広域緑色岩変成作用と硫化鉄鉱化作用の関係について, p. 340 ~ 344, 文献30.
- Г. М. Власов : ウラル地方の硫化鉄鉱床生成作用解明への酸性熱水生成物の意義, p. 345 ~ 349, 文献18.
- А. И. Шмидт : 南ウラル地方ウチャラ鉱床生成域とクロサン鉱床生成域にみられる玄武岩質マグマ作用過程・緑色岩質変成作用過程と硫化鉄鉱化作用との関係, p. 350 ~ 357, 図3, 文献23.
- Г. Ф. Яковлев, Т. Я. Гончарова : 南ウラル地方のサブボルカニック生成体と含銅硫化鉄鉱体, p. 358 ~ 366, 文献24.
- В. И. Воробьев, Н. И. Еремин : 南ウラル地方テレンサイ鉱床生成域にみられるマグマ分化コンプレックスと硫化鉄鉱化作用・多金属鉱化作用との関係, p. 367 ~ 375, 図1, 文献5.
- Г. В. Божко, Б. П. Потапенко : 東ウラル隆起帯におけるアイトイルラ硫化鉄鉱床付近の地質の特徴, p. 376 ~ 380, 図3, 文献6.
- П. Я. Ярош : ウラル地方硫化鉄鉱石の変成, p. 381 ~ 390, 図6, 文献25.
- С. А. Рокачев : ウチャラ含銅硫化鉄鉱床における鉱石碎礫の由来, p. 391 ~ 397, 図4, 文献12.
- Е. В. Прахова : ウラル地方の硫化鉄鉱石中の黄鉄鉱集合生成史によせて, p. 398 ~ 403, 図4, 文献14.
- В. С. Мясников, О. В. Карпова : 南ウラル地方クシンスク-コペニ貫入岩にみられる含チタン鉄鉱床生成作用の規則性と地質構造, p. 404 ~ 409, 文献7.
- 質疑と討論, p. 410 ~ 425.

第4巻目次 (1971年)

- И. Д. Соболев : 貫入花崗岩質マグマ作用総観, p. 5 ~ 8.
- Б. К. Львов, М, П, Кетрис, Н. И. Петрова : ウラル地方後期古生代花崗岩類コンプレックス, p. 9 ~ 20, 図2, 表3, 文献8.
- Г. Б. Ферштатер : 南ウラル・中ウラル両地方の花崗岩の生成条件の指標としてのその組成と構造, p. 21 ~ 29, 表4, 文献23.
- Е. М. Ананьева, Б. В. Дорофеев, Г. А. Кейльман, Е. Б. Горонович : ウラル地方花崗岩類コンプレックスの地球物理学的特徴, p. 30 ~ 44, 表3.
- О. В. Беллавин : 中ウラル地方の花崗岩の研究への重力測定法利用結果, p. 45 ~ 53, 図3, 表1, 文献29.
- М. С. Рапопорт, П. В. Покровский, З. И. Комарова, С. В. Автонеен : シロボ-コーネフスク花崗岩類山塊群の地質構造, マグマ作用, 鉱床分布に関する新データ, p. 54 ~ 71, 図4, 表1, 文献3.
- М. С. Рапопорт : シロボ-コーネフスク区の斜長花崗岩の特徴について, p. 72 ~ 75, 表1, 文献5.
- З. И. Комарова : シロボ-コーネフスク山塊群の後古生代花崗岩類, p. 76 ~ 108, 図3, 表8, 文献18.
- В. А. Чашухина : シロボ-コーネフスク山塊群の花崗岩類の副成鉱物, p. 109 ~ 113, 表1, 文献6.
- А. И. Шерстюк, В. Г. Фоминых : ムルザ-アドウイスク貫入体花崗岩類中の鉄属元素の分布, p. 114 ~ 130, 図5, 表3, 文献2.

- М. Б. Аринштейн, А. И. Лисицын : ムルザ-アドウイスク貫入体東部の交代変質花崗岩の諸特徴, p. 131 ~ 137, 図 1, 文献 3.
- И. Н. Бушляков : ベルフ-イセツク複背斜およびサルダ-パトロカメンスク複背斜の花崗岩類の鉱物学的-地球化学的特徴, p. 138 ~ 147, 図 4, 表 7, 文献 14.
- Р. С. Куруленко : 中ウラル地方シャルタシュ山塊の花崗岩類の均質性の量的評価, p. 148 ~ 152, 図 1, 表 1.
- В. М. Яновский : プラストフスキー山塊の斜長石質花崗岩類, p. 153 ~ 162, 図 3, 表 1, 文献 10.
- Н. И. Бородаевский ほか 8 名 : 成因と評価の問題と関連あるコチュカル鉱床田の岩脈といわゆる「Tabashka」に関する新データ, p. 163 ~ 170, 表 2.
- А. С. Таланцев : ウラル地方花崗岩ペグマタイト中の曹長石帯と白雲母帯, p. 171 ~ 180, 図 3, 表 2, 文献 17.
- А. С. Таланцев : 南ウラル地方コチュカル花崗岩貫入体のペグマタイト中の累帯構造, p. 181 ~ 187, 図 2.
- А. Ф. Коптяев, А. Л. Зейгермахер : 南ウラル地方バシユキロボドリ花崗岩類山塊の地質上の位置と生成条件, p. 188 ~ 191, 図 1, 表 1, 文献 2.
- А. И. Грабежев, А. Ф. Коптяев, А. Л. Зейгермахер, В. А. Чашухина, С. Г. Ғервяковский : 南ウラル地方バシユキロボドリ錫鉱床の岩石の交代作用, p. 192 ~ 198, 図 2, 表 3, 文献 10.
- П. В. Покровский, А. И. Грабежев : ポエボ-ビクチミロフスク鉱床田の岩石中の割れ目周縁の交代作用現象, p. 199 ~ 217, 図 7, 表 21, 文献 3.
- Н. И. Тихомирова : スイセルック-イルメノゴルスク大複背斜南部およびマグニトゴルスク大複背斜北部の花崗岩類山塊の成因について, p. 218 ~ 225, 図 1, 文献 12.
- С. П. Еремеев, А. И. Грабежев, В. Г. Вигорова : カツパフスキー山塊花崗岩類の鉱物学的-地球化学的特徴, p. 226 ~ 231, 図 1, 表 3.
- В. В. Потапьев : 多相花崗岩体の生成作用の問題について, p. 232 ~ 238.
- М. М. Повилайтис : モリブデン・タングステン鉱床発達地域に分布する花崗岩体の周期的累帯構造の特徴, p. 239 ~ 247, 図 4, 表 2, 文献 15.
- А. А. Краснобаев, Н. С. Сплошнова : ウラル地方花崗岩類の成因問題とジルコン, p. 248 ~ 258, 図 5, 文献 10.
- М. И. Задумина, К. М. Сиротин : オルスク-ザウラル地方における花崗岩類の対比鉱物としてのジルコン, p. 259 ~ 263, 図 1, 文献 10.
- А. А. Краснобаев, М. В. Траянова : ウラル地方花崗岩類産ジルコン中のハフニウム, p. 264 ~ 268, 図 2, 表 3.
- Ю. Е. Молдаванцев : 極ウラル地方ハルバイ複背斜の花崗岩類の岩石学的特徴, p. 269 ~ 274, 文献 4.
- М. В. Фишман, Б. А. Голдин, В. П. Давыдов, Е. П. Калинин : 亜極ウラル地方花崗岩類の岩石化学, p. 275 ~ 287, 図 5, 表 2, 文献 12.
- В. Г. Вигорова : 亜極ウラル地方花崗岩類の鉱物学的-地球化学的特徴について, p. 288 ~ 294, 表 2, 文献 3.
- М. В. Фишман, Н. П. Юшкин, Б. А. Голдин : 亜極ウラル地方花崗岩類の副成鉱物, p. 295 ~ 305, 図 2, 表 3.
- С. С. Щербин, А. Ф. Коптяев, В. П. Челноков : 亜極ウラル地方マニ-ハンボ花崗岩の組成, その生成条件, 生成史, p. 306 ~ 317, 図 3, 表 5, 文献 3.
- Н. П. Старков : 北ウラル地方中部の花崗岩類の岩石学によせて, p. 318 ~ 326, 図 2, 表 3, 文献 12.
- А. А. Алексеев : バシユキル-ウラル地方ウラル-タウ帯花崗岩の岩石学および岩石化学的特徴,

- p. 327 ~ 330, 表 2, 文献 4.
- Н. Б. Малютин, Е. П. Смирнов : 中ザウラル地方後古生代花崗岩類, p. 331 ~ 342, 表 6.
- Б. С. Погорелов : 北ザウラル地方の花崗岩類, p. 343 ~ 352, 図 1, 表 6, 文献 3.
- Е. А. Мазина, А. И. Райхлин : ツルガイ凹地西部の石炭紀花崗岩類生成体の比較特性, p. 353 ~ 366, 図 4, 表 2, 文献 20.
- О. К. Ксенофонтов, А. И. Ивлев : ツルガイ凹地プリウラル地域の花崗岩質マグマ分化コンプレックスとその鉱床胚胎性, p. 367 ~ 372, 表 2, 文献 3.
- Н. В. Свяжин, В. Я. Левин : Урал地方のアルカリマグマ作用, p. 375 ~ 389, 図 1, 文献 68.
- Б. М. Роненсон, В. Я. Левин, А. Г. Баженов, Л. В. Любимова : Илмен山とビシュネボ山のアルカリ貫入岩体, p. 390 ~ 399, 図 3, 表 1, 文献 5.
- Б. М. Роненсон : Бишунево山のミアスカイト生成条件について, p. 400 ~ 408, 図 2, 表 3, 文献 22.
- В. Я. Левин, И. А. Левина : Илмен山アルカリ山塊南部の岩石変種の由来-接触反応過程, p. 409 ~ 413, 図 1, 文献 5.
- Ю. Д. Панков : Илмен-Голсук-Мяскайт山塊とチャシュコボ花崗岩山塊の比較特性, p. 414 ~ 420, 図 1, 表 2, 文献 7.
- Н. В. Свяжин, И. В. Жилин, В. И. Петров, Г. Ф. Селиверстов : Урал山脈西斜面 Нязепетровск区アルカリ岩類, p. 421 ~ 429, 図 1, 表 2, 文献 2.
- О. К. Ксенофонтов : ツルガイ凹地のアルカリ貫入岩類, p. 430 ~ 434, 図 5, 表 1.
- К. А. Абдрахманов, А. Т. Бекботаев : Мугжарль地方アルカリ花崗岩類岩系, p. 435 ~ 440.

第5巻目次

- Г. А. Кейльман : Урал地方片麻岩-混成岩コンプレックスの地質学的特徴, p. 7 ~ 11, 文献 12.
- А. В. Миловский, Р. В. Гетлинг, В. И. Фонарев, Г. Р. Рошкван : Мугжарль地方先カンブリア紀変成累層の岩石化学と岩石学, p. 12 ~ 24, 図 7, 表 7, 文献 9.
- Ю. Ю. Эрвые : 極ウラル地方北部の広域変成作用の諸特徴, p. 25 ~ 30, 図 2, 文献 4.
- Г. А. Глушкова : Мариинск-Кер片麻岩コンプレックスの岩石学的研究によせて, p. 31 ~ 34, 図 1, 文献 9.
- Е. П. Мельников, Н. И. Мельникова : Уфалей複背斜南東部の地質, 変成作用, 雲母胚胎性に関する新データ, p. 35 ~ 38, 図 1, 文献 2.
- В. А. Грачев, Г. А. Кейльман, Р. А. Крылов : Салда片麻岩コンプレックスの地質学的概観, p. 39 ~ 44, 図 1, 文献 4.
- Н. Я. Фоминых, И. П. Ваганова : Салда片麻岩コンプレックス東部の岩石学的研究によせて, p. 45 ~ 52, 図 1, 表 3, 文献 7.
- Л. Л. Перчук, Г. Г. Доминиковский : Илмен山の角閃岩・結晶片岩・混成岩の鉱物共生関係の規則性, p. 53 ~ 61, 図 5, 表 5, 文献 7.
- А. Г. Баженов, Г. Г. Доминиковский, А. С. Красина : Илмен山変成岩の起源の二義的指標としての微量元素, p. 62 ~ 67, 図 3, 文献 10.
- Ю. Д. Панков, В. Ф. Турбанов, Т. Н. Парашина : Илмен-Голсук変成岩コンプレックスの絶対地質年代に関する問題に寄せて, p. 68 ~ 76, 図 1, 文献 13.
- А. П. Казак : 南ウラル地方ウラル-タウ複背斜岩層の変成累帯配列, p. 77 ~ 81, 図 2, 文献 5.
- А. А. Алексеев : 南ウラル地方ウラル-タウ山脈スバニャク・コンプレックスのシャガル系変成岩, p. 82 ~ 86, 表 2, 文献 8.
- Н. А. Иванов, Т. М. Кошкина, Т. И. Щербакова : Сиселлек累層緑泥石化雲母片岩産 Ильмен-ヘマタイトとその古磁気的特徴, p. 87 ~ 90, 図 3, 文献 8.

新着資料の紹介 (資料室)

В. Г. Фоминых, Е. И. Клевцов : マユーロフカ鉱床のチタン磁鉄鉱の変成, p. 91 ~ 97, 図 3, 表 4, 文献 5.

М. М. Лебедев : カムチャッカ半島にみられる 2 型式の変成帯とその相関関係, p. 98 ~ 104, 図 3, 表 2.

Л. М. Минкин, О. М. Яковлева : 含白金帯の角閃岩に関する新データ, p. 107 ~ 118, 図 8, 表 4, 文献 13.

А. А. Маракушев, Л. Д. Куршакова : 緑色岩変成作用の鉱物相, p. 121 ~ 132, 図 3, 表 1, 文献 20.

В. М. Нечеухин, В. А. Маркс : 南ウラル地方マグネトゴルスク複向斜西翼の岩石の変成作用, p. 133 ~ 136.

В. П. Логинов : 中ウラル地方の主要緑色岩帯における 広域変成作用の葡萄石-パンペリー石相, p. 137 ~ 144, 表 2, 文献 30.

В. Б. Болтыров : 南ウラル地方ジューサ川中・上流の岩石の広域緑色岩変成作用, p. 145 ~ 151, 図 2, 表 2.

В. А. Прокин, А. А. Захарова, А. А. Алексеев : プリバイ銅鉄床生成域の火山源層の変成, p. 152 ~ 158, 図 1, 表 4, 文献 6.

А. А. Захарова : 南ウラル地方マカン-マンベトフスキー鉄床分布帯の火山源岩層の変成, p. 159 ~ 167, 図 1, 表 2, 文献 4.

Г. П. Зарайский, В. М. Нечеухин, В. И. Старостин : 南ウラル地方プリーバ区火山源岩層の変成作用の特徴, p. 168 ~ 172, 文献 3.

Г. Н. Старцев : ポレフスコイ鉄床分布域の岩石の変成, p. 173 ~ 177, 図 1.

М. И. Исмагилов : 南ウラル地方マイルスク金-多金属鉄床の初成累帯配列, p. 178 ~ 184, 図 1, 表 3.

Н. Н. Семенова, В. Г. Ершова : 中ウラル地方北部のパレントフスクおよびガルカ硫化鉄鉄床における側岩交代作用の特徴, p. 185 ~ 190, 図 6, 文献 2.

В. М. Нечеухин, Б. А. Маркс, В. А. Прокин : 古期火山作用発達地域における変成図組立て法について, p. 191 ~ 196, 表 2, 文献 12.

М. Б. Бородаевская, А. И. Кривцов : 大縮尺火山源生成体変成図組立て法について, p. 198 ~ 210, 図 2, 文献 16.

Л. П. Гуревич, В. М. Нечеухин : 広域緑色岩変成生成体の鉱物学的特徴によせて, p. 211 ~ 215, 図 3, 文献 7.

Ф. П. Буслаев : ジューゼリ鉄床・ガイスク鉄床にみるウラル地方硫化鉄鉄床産絹雲母の変成, p. 216 ~ 224, 図 7, 表 2, 文献 9.

Г. Н. Пшеничный : 南ウラル地方硫化鉄鉄床の絹雲母の組成と性質について, p. 225 ~ 229, 図 1, 表 1.

Ю. Л. Куваевский, Н. Д. Куваевская, Е. В. Попов : パシユキリア地方ハイブラ区の Si-Na 交代作用生成体とその岩石学的特徴, p. 230 ~ 238, 文献 7.

Г. А. Морозов : 南ウラル地方パイマックス鉄床生成域におけるはんれい岩類の交代変質, p. 239 ~ 241, 図 1.

А. П. Казак, Б. Л. Соколов : オルスク-ザウラル地方のグライゼン, p. 245 ~ 249, 図 2.

Н. В. Куклин : 後マグマ溶液による鉱物の多段階沈殿結果としての帯状交代岩, p. 250 ~ 258, 表 4, 文献 16.

Е. П. Леонова : ツルガイ凹地アカルガ金鉄床における交代過程, p. 259 ~ 265, 表 4, 文献 4.

Я. П. Баклаев : 鉄体規制断層中の岩石の変質について, p. 266 ~ 269, 図 1, 文献 3.

С. М. Аккерманцев, В. Б. Болтыров : 南ウラル地方某水晶鉄床母岩の交代変質, p. 270 ~ 275, 図

2, 表2.

Г. Н. Вертушков, Ю. А. Соколов, В. И. Якшин: Урал 地方花崗岩類山塊周縁の不毛石英脈の
帯分布, p. 276 ~ 278, 図1, 表1, 文献2.

Г. А. Синкевич, А. А. Шеколдин: 南ウラル地方の脈石英細粒化の特徴, p. 280 ~ 283, 図2, 文
献5.

質疑と討論, p. 284 ~ 294, 表1.

2) Г. В. Поляков, Ю. М. Пушаровский(1971): 「Палеозойский магматизм и железоор-
уднение юга Средней Сибири (中シベリア地方南部の古生代マグマ作用と鉄鉱化作用)」, ナウカ
出版社, 310p., 図56, 表52, 文献 373, 27 × 18 cm (露文)

目次

第1章 アルタイ-サヤン褶曲域中央部古生代マグマ分化岩コンプレックスのフォーメーション 解析
本来の地向斜層系群 (早期地向斜層系群)

スピライト-ケラトファイア岩系列 はんれい岩-斜長花崗岩岩系列

造山層系群 (同時転位層群)

後造山層系群

第2章 含鉄鉱はんれい岩質貫入体

アンザス鉄鉱床群地域のマグマ分化岩コンプレックス

地域地質構造 貫入生成体 後マグマ過程の特徴と鉄化作用 はんれい岩-曹長岩コンプレ
ックスの成因と磁鉄鉱床の問題

バルイクサ帯のマグマ分化岩コンプレックス

地域地質構造 貫入生成体 後マグマ過程と鉄化作用 はんれい岩-曹長岩コンプレッ
クスと磁鉄鉱床の成因上の特徴

タヤート-タブラート区 (東サヤン地方) のマグマ分化岩コンプレックス

地域地質構造 貫入生成体 鉄鉱床の主な特徴 貫入岩コンプレックスの成因の問題

第3章 含鉄鉱花崗岩類貫入体

オリホフカ系

はんれい岩・紫蘇輝石はんれい岩・閃緑岩コンプレックス シンダ花崗岩類プルトン その
他の花崗岩類山塊の特徴 オリホフカ系岩石の絶対地質年代 オリホフカ系の起源 貫入
体の鉄化作用上の特徴

タンヌオリ系

テリベス系

含鉄鉱花崗岩類コンプレックスおよびそれと関係ある磁鉄鉱床の特徴

第4章 サブボルカニック含鉄鉱花崗岩-閃長岩質貫入体

イルビンスク-クラスノカメニスク区のマグマ分化岩コンプレックス

デボン紀噴出岩コンプレックス デボン紀サブボルカニック花崗岩・閃長岩コンプレックス

デボン紀マグマ分化岩コンプレックスの特徴

テヤ鉱床区のマグマ分化岩コンプレックス

テヤ-ショルスキ-はんれい岩コンプレックス 花崗岩コンプレックス デボン紀火山成コン
プレックス デボン紀サブボルカニック花崗閃長岩・閃長岩コンプレックス

その他の含鉄鉱花崗閃長岩質貫入体の例

含鉄鉱花崗閃長岩質貫入体およびそれと関係ある鉄鉱床の特徴

第5章 マグマ作用と関係ある磁鉄鉱床の分布と生成作用の特徴

まとめ

3) Ю. М. Пушаровский • (1967) : 「Геология и полезные ископаемые Кубы (キューバの地質と有用鉱物)」, ナウカ出版社, 25.5 × 16.5 cm (露文)

目 次

編者緒言

Ю. М. Пушаровский, А. Л. Книппер, М. Пуиг-Рифа : 1/250,000 キューバ構造地質図, p. 7 ~ 31, 図 1, 文献 37.

А. Л. Книппер, М. Пуиг-Рифа : ピニヤレス市地域のロス-オルガノス山の地体構造とそこでの蛇紋岩体の位置, p. 32 ~ 41, 図 3, 文献 10.

А. Л. Книппер, М. Пуиг-Рифа : オリエンテ州北西部における超塩基性岩貫入体の構造地質上の位置, p. 42 ~ 57, 図 8, 文献 15.

Н. П. Лавёров Я. Буриан, Р. Кабрера-Ортега, С. Конечный : マターンブレ銅鉱床の地質構造および成因問題, p. 58 ~ 79, 図 5, 文献 9.

Н. П. Лавёров, Р. Кабрера-Ортега : オリエンテ州エル-コルベ銅鉱床の地質構造およびその成因問題, p. 80 ~ 103, 図 5, 文献 3.

Н. П. Лавёров, Р. Кабрера-Ортега : キューバの熱水性銅鉱床分布概説, p. 104 ~ 113, 図 1, 文献 3.

В. И. Финько, И. З. Корин, Ф. Формелль-Кортина : キューバの古期風化殻とラテライトの生成期について, p. 114 ~ 134, 図 8, 文献 54.

И. З. Корин, В. И. Финько, Ф. Формелль-Кортина : キューバの含ニッケル風化殻生成作用における初成岩の構造の役割, p. 135 ~ 162, 図 10, 表 1, 文献 36.

В. И. Финько, И. З. Корин, Ф. Формелль-Кортина : キューバにおける海泡石-パリゴルスサイト族鉱物の発見について, p. 163 ~ 169, 図 4, 表 1, 文献 7.

И. З. Корин, В. И. Финько, А. Нуньес-Хименес, Ф. Формелль-Кортина : キューバの蛇紋岩上の偽カルストについて, p. 170 ~ 187, 図 5, 文献 9.

Н. П. Лавёров, Л. Л. Шанин, Р. Кабрера-Ортега : キューバの諸岩石の絶対地質年代, p. 188 ~ 190, 表 1, 文献 2, 付図 : キューバ構造地質図, 125万分の 1.